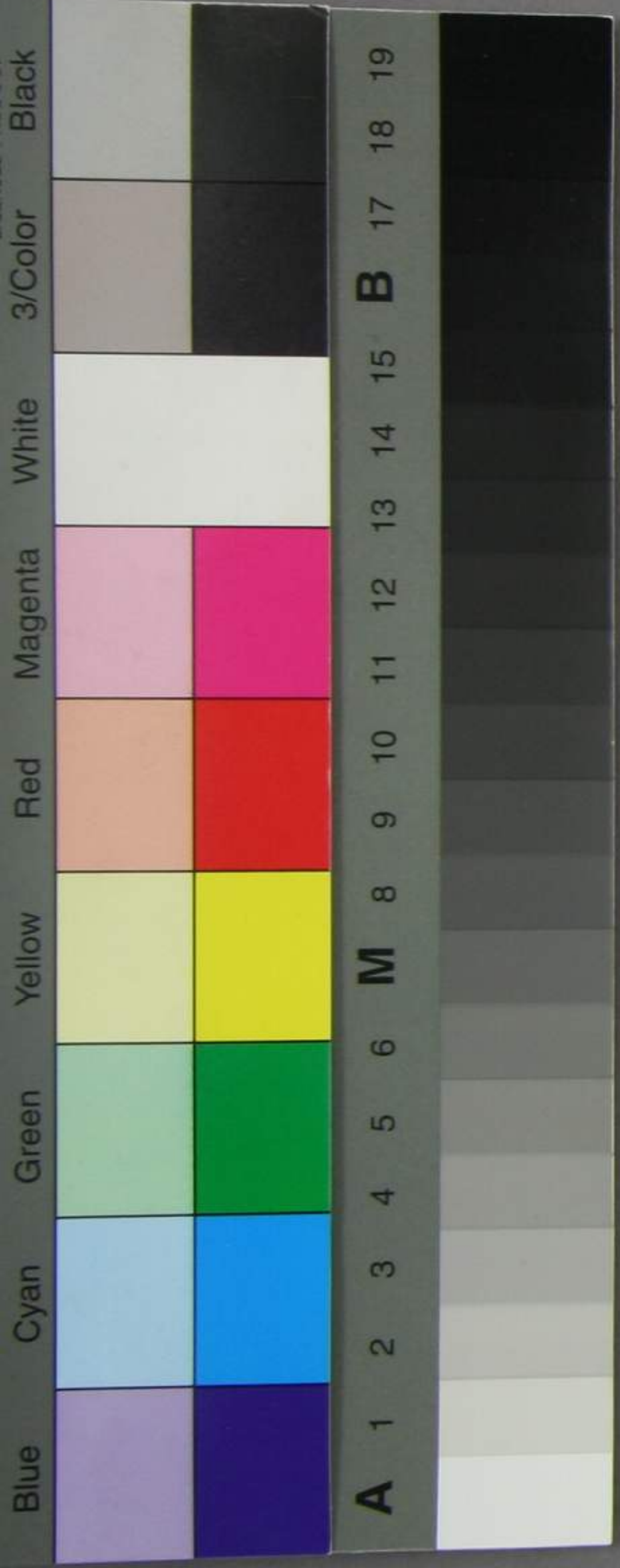


114
A 3210



米穀ハ我邦人民性命ノ繫ル所其貴重ナル固ヨリ論ヲ
 俟タス是ヲ以テ常ニ其饒乏流通ノ如何ヲ鑑ミ以テ賣
 買相利スルノ法ヲ案セサル可ラス今ヤ幸ニ全國米高
 會所ノ諸君東京ニ來會セリ因テ拙案ヲ裁シテ諸君ノ
 批正ヲ乞フ夫レ米穀ノ海外ニ輸出スル年一年ヨリ多
 ク明治十一年ノ春ニ於テハ二億千零十二万三千二百
 斤ノ巨額ヲ輸出セリ是ヲ以テ内地ニ剩餘スヘキ米穀
 ノ減少スルハ因ヨリ當然ノ理ト謂フヘシ現ニ本年ノ
 如キハ旧穀既ニ盡キテ新穀未タ成ラサルニ際シ一時
 殆ント欠乏ノ勢ヲ示シ米價ノ騰貴スルヲ實ニ非常ニ
 出テ大ニ以テ全國ノ民心ヲ疾マシムルニ至レリ幸ニ
 秋成豊穰ヲ告テ新穀早ク市場ニ上リ民心還タ忽チ安

大正十一年四月
隈侯爵郵寄 贈



堵スルヲ得ルハ是寔ニ吾人ノ天幸ト謂ハサル可ラス
此時ニ當テ收穫若シ歉ヲ告クルコトアレハ吾人必スレ
モ饑餓セスト雖モ又何等ノ難事ニ遭際スルヲ計ルヘ
カラス思フテ此ニ至レハ誰カ寒心セサル者アラシヤ
今此情勢ヲ鑑ミ以テ将来ヲ揆レハ今既ニ米穀ノ輸出
巨額ニ上リ海外各國ノ需用ニ供スルノ日ニ當リ内地
ノ限月賣買ニ於テ獨リ本邦ノ米穀ヲ難雜スルニ止マ
レハ其事業狹局ナラサルヲ得サル者アツテ又其流通
ノ一地方ニ偏倚スルノ弊無キヲ免カレス隨テ投機者
ノ現米少キニ乘レテ買締競上等ノ奸ヲ施スニ易カラ
シメ以テ全國ノ民害ヲ招ク者淺小ニアラサルナリ輸
出ノ得失ニ至テハ其利益アルヲ以テ内外人ヲ論セス
之ニ從事スルハ固ニ我カ得策タル者ナリ然レモ其輸

出スルニ當テハ敢テ米穀ノ饒乏ヲ顧ルニ遑アラサル
ヲ以テ穰年多穀ノ時ハ甚シキ影響ヲ来サ、ルモ若シ
歲登ラサレハ其影響忽チ本年新穀未成前ノ形勢ノ如
シ之ヲ奈何トモスルコトナカラシ是得アレハ必ス失ア
リ利アレハ必ス弊アルノ通情ナリ之ヲ調濟スルノ法
我米高會所受渡米ノ内別ニ支那米ノ掛米ヲ許シ其相
應ノ格附ヲ立テ以テ難雜ノ區域ヲ廣ムルヲ要ス如此
ナレハ所謂買締或ハ偏倚等ノ弊害ヲ防範シ而テ又米
高ノ初メハ香港柴棍等ノ地方ニ區々着眼スル所モ遂
ニ印度歐洲等ノ相場上ニ注目シ漸次難雜ノ區域ヲ廣
ムルヲ得ルコト難カラス加之米價非常ノ騰貴ヲ防キ又
以テ輸出ヲ増シ其功用甚タ大ナルヲ信ス然リ而シテ
我米穀ノ輸出八年々多少アリト雖モ需用ノ望ミ稍々

属レ聲價漸ク得ルヲ以テ益其給需ヲ便利ニスルヲ要
ス若シ之ヲシテ一年ハ輸出シ一年ハ輸出セス供給常
ナカラシムレハ復々其属望ヲ失セサルヲ得ス須ラク
年々輸出ニ後事スヘシ論者或ハ曰ク此法只總ニ米價
ノ騰貴ヲ防クニ過キス若シ支那米ノ掛米ヲ許シ米價
賤低ニ過クルヲアレハ百姓ノ困難スル計ルヘカラス
シテ是カ為メ米穀ノ産出ヲ減サスルノ恐ナキヲ得ス
其低價ヲ防クノ法モ亦ナカル可ラスト論者ノ言ハ其
一ヲ知り未タ其二ヲ知ラサル者ナリ夫レ我米價ノ一
タヒ低下ニ趣クキハ其輸出益多クシテ外國米ヲ輸入
スルヲ得ス是ヲ以テ其價格忽チ騰リ百姓ノ困難スル
ヲ俟タスシテ回復スヘシ此理最賄易キ者ニシテ決シ
テ論者ノ言ヲ煩ハサス故ニ其騰貴ヲ防ケハ俟セテ低

下ヲ防キ常ニ米價ノ為メニ推衡ヲ設クル者ト謂フヘ
シ此ヲ以テ之ヲ見レハ支那米ヲ以テ限月賣買ニ供ス
ルハ今日米穀ノ大計タルヲ極メテ得策ナルヲ信セリ
因テ之ヲ諸君ニ質シ伏テ高明ノ指示ヲ乞ヒ幸ニ諸君
ノ本案ニ同意ナルヲ得ハ能ク其米穀ノ性質ヲ審査シ
以テ格付ヲ立ツルヲ要ス然リト雖モ此法海外貿易ニ
関スル重件ナルヲ以テ敢テ目今ニ急求スルニアラス
本年ノ悞同會ニ開陳シテ諸君ノ考查ニ供ヘ明年ノ會
期ヲ待テ指示ヲ領セント欲ス諸君高諭ヲ吝ムナクシ
ハ幸甚

明治十二年十一月

東京兜町米商會所

肝煎大倉喜八郎

附言

前件支那米ヲ受渡ニ用ユルハ暫ク東京大阪兩所ノ米
商會所、要望スル所ニシテ一般ノ同業、施行セント
欲スレニアラス

各地方米商會所ノ内ニハ其一地方ノ産出米ニ限ル賣
買受渡ニシテ仅令隣縣ト雖モ管轄外ノ産出米ハ一切
受渡ヲ許サ、ル所アリ是等ハ最モ狹局ノ旧習ナレハ
最寄隣地方ノ米穀ニ相当ノ格付ヲ定メテ一步受渡米
ノ區域ヲ廣メ俟セテ偏倚ノ弊害ヲ改良センコトヲ望ム